

[illegible][illegible]

七月  
一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、  
十一、  
十二、  
十三、  
十四、  
十五、  
十六、  
十七、  
十八、  
十九、  
二十、  
二十一、  
二十二、  
二十三、  
二十四、  
二十五、  
二十六、  
二十七、  
二十八、  
二十九、  
三十、

稻垣佐所院原心 此度每書之

臨光院為七月廿三日之辰  
西忌 相商之方要事是幸  
相商之方要事是幸 相商之方要事是幸  
相商之方要事是幸 相商之方要事是幸

沙茶湯料

全書要部

願極

四書要

全書正

以代香樂及言 仁賢

右之海 仁賢不仁長者何仁仁

以代香樂及言

育

仁賢不仁長者何仁仁

沙茶湯料

文之元酉年七月廿三日臨光院  
西忌 七回忌相商之方要事是幸  
相商之方要事是幸 相商之方要事是幸  
相商之方要事是幸 相商之方要事是幸  
四一日以代香樂及言 仁賢不仁長者何仁仁

沙茶湯料

全書要部

願極

四書要

全書正

以代香樂及言 仁賢不仁長者何仁仁  
仁賢不仁長者何仁仁 仁賢不仁長者何仁仁

以代香樂及言 仁賢不仁長者何仁仁

解像

金百正

以代香案受取云云 仁智云

右の事 仁智云 仁智云 仁智云

育

以代香案受取

仁智云

以代香案受取

文之元酉年七月廿七日 仁智云 仁智云 仁智云  
七回忌 仁智云 仁智云 仁智云  
四一日 仁智云 仁智云 仁智云  
仁智云

以代香案受取

仁智云

解像

金百正

以代香案受取 仁智云 仁智云 仁智云  
仁智云 仁智云 仁智云

一 以代香案受取 仁智云 仁智云 仁智云  
仁智云 仁智云 仁智云

一 以代香案受取 仁智云 仁智云 仁智云  
仁智云 仁智云 仁智云

一 以代香案受取 仁智云 仁智云 仁智云  
仁智云 仁智云 仁智云

仁智云

仁智云

多分はれぬは後へ  
但し 後へを  
見えてあるは中へ  
より 人より  
より 後へ  
より 後へ  
より 後へ

七月

所々 後へ  
より 後へ  
より 後へ  
より 後へ

七月

後へ  
より 後へ  
より 後へ  
より 後へ

後へ  
より 後へ  
より 後へ  
より 後へ

後へ  
より 後へ  
より 後へ  
より 後へ

七月

七月

七月

七月

後へ  
より 後へ  
より 後へ  
より 後へ

二の冬は佐賀の町に  
うきやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に

三の冬は佐賀の町に  
うきやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に

四の冬は佐賀の町に  
うきやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に

五の冬は佐賀の町に  
うきやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に

六の冬は佐賀の町に  
うきやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に

七の冬は佐賀の町に  
うきやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に

八の冬は佐賀の町に  
うきやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に

九の冬は佐賀の町に  
うきやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に

十の冬は佐賀の町に  
うきやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に  
ふゆやうきな町に

七

一、此乃法家之言。其言曰：法者，治之具也。刑者，治之威也。德者，治之化也。三者并用，而天下治。此法家之言也。

七十四

一、海軍部所屬各艦隊司令部提督

月廿四

此乃東坡先生詩也  
 此乃東坡先生詩也

功在天下

此乃一  
明葉

陽公在蜀時

以九乃掛年述小海至後中云云如

沈氏之書

夕  
中  
の  
事  
は  
、  
先  
に  
所  
で  
書  
き  
置  
か  
れ  
た

[illegible]

何處之憂也

但此  
一書  
一



一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

[illegible]

卷之五

福如東海

あふ子平年廿九

秋風度林十  
七回少長

新嘉坡大坡大馬路

陽春之宴

七月十日

一、府邸様之御書を拜見し、其の御意に依りて

御返答申上り候所、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

此の御書は、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事

御座候事、御座候事、御座候事、御座候事、御座候事



七月十一日。

いふ所は様々之書はさう月々あるなり。

いふ所は

いふ所は

いふ所は

いふ所は

いふ所は

いふ所は

いふ所は

いふ所は

いふ所は

いふ所は

いふ所は

いふ所は

いふ所は

いふ所は

いふ所は

いふ所は

いふ所は

七月十日

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十

July 10th

July 10th

July 10th

July 10th

July 10th

July 10th

[illegible]

一上ノハ

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

李西

七

[illegible]

心書





一 諸河も  
一 同家持  
一 陰所

中可成物  
上之陰所  
以服立つる

七月

七月

月全ちの終

入

八月

八月の終  
八月の終  
八月の終

八月

八月の終  
八月の終  
八月の終  
八月の終  
八月の終







今般徂系極成波口  
台

御幡

三對

机掛御打敷

紫御幕

一對

麻御幕

一對

御尾風

一刃

御毛氈

御翠簾

御火鉢

御膳部

一通

袈裟

以上

本立寺

一  
口  
口  
口

李長蘅

[illegible][illegible]

七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

八月一日  
御書

[illegible]

白雲山  
竹園

[illegible]

一 皇朝萬曆二十一年四月  
 一 王國光  
 一 王國光



もふ物と本場より修理して居る  
まふ物の中より九分は古き物なり  
あふ物の中より八分は古き物なり  
ゆふ物の中より七分は古き物なり  
ゆふ物の中より六分は古き物なり  
ゆふ物の中より五分は古き物なり  
ゆふ物の中より四分は古き物なり  
ゆふ物の中より三分は古き物なり  
ゆふ物の中より二分は古き物なり  
ゆふ物の中より一分は古き物なり

ついで

ふふ物の中より十分は古き物なり  
ふふ物の中より九分は古き物なり  
ふふ物の中より八分は古き物なり  
ふふ物の中より七分は古き物なり  
ふふ物の中より六分は古き物なり  
ふふ物の中より五分は古き物なり  
ふふ物の中より四分は古き物なり  
ふふ物の中より三分は古き物なり  
ふふ物の中より二分は古き物なり  
ふふ物の中より一分は古き物なり

ついで

ふふ物の中より十分は古き物なり  
ふふ物の中より九分は古き物なり  
ふふ物の中より八分は古き物なり  
ふふ物の中より七分は古き物なり  
ふふ物の中より六分は古き物なり  
ふふ物の中より五分は古き物なり  
ふふ物の中より四分は古き物なり  
ふふ物の中より三分は古き物なり  
ふふ物の中より二分は古き物なり  
ふふ物の中より一分は古き物なり

ついで

ふふ物の中より十分は古き物なり  
ふふ物の中より九分は古き物なり  
ふふ物の中より八分は古き物なり  
ふふ物の中より七分は古き物なり  
ふふ物の中より六分は古き物なり  
ふふ物の中より五分は古き物なり  
ふふ物の中より四分は古き物なり  
ふふ物の中より三分は古き物なり  
ふふ物の中より二分は古き物なり  
ふふ物の中より一分は古き物なり



[illegible]

一、（右）  
 一、（左）

了。我坊。乃。多。如。作。之。言。之。其。如。  
名。多。而。居。之。本。心。之。智。巧。之。為。之。也。  
所。以。知。之。者。多。之。法。一。之。月。之。是。也。若  
此。一。月。之。仙。有。之。乃。各。元。在。之。乃。如。上。  
一。次。面。半。江。事。經。行。之。沙。如。其。院。  
第。新。之。最。之。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。  
不。如。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。乃。

丹心

有

子

之

り

2

乃

上

檢之

かゝる

張

此種情形者多矣

方信玄新像一丁方信玄新像一

中分と云ふは、中も多き所

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

平江府志

金魚の群る

玄山先生语录卷之五





八月廿日

一 所に法を授けしを以て其の功を記す  
印を所ししを以て其の功を記す  
如法に法を授けしを以て其の功を記す

云々

一 法を授けし

云々

一 法を授けし

云々

云々

法を授けしを以て其の功を記す

法を授けしを以て其の功を記す

云々

八月廿日

云々

法を授けし

法を授けし

八月廿日

一 法を授けしを以て其の功を記す  
法を授けしを以て其の功を記す  
法を授けしを以て其の功を記す  
法を授けしを以て其の功を記す  
法を授けしを以て其の功を記す